

応急救護マニュアル(病院移送)

24.4.1~
たごうら児童クラブ

◎ 児童の状態 ⇒

出血が止まらない ぐったりしている
意識がない 熱がある
外傷 火傷 ねんざ 骨折等

富士市応急救護
マニュアル参照
注) 処方薬は預からないこと

児童移送 判断段階	指導員分担 ①②③	移送とその後※	備考
1 保護者に連絡 迎えに来てもらうまで クラブで安静を保つ	① 保護者に電話連絡 ② 看護 ③ 周囲を安心させる	※日誌に記録する 保護者が行う	事務室に保険対象か? 聞き 必要なら記録コピー提出
2 緊急性があるか不明の場合	① 病院に電話をして聞く		学校医 外科内科: 渡辺整形クリニック 内科: 田子浦クリニック 眼科: 花崎眼科 歯科:
3 <特別な場合> 諸事情により、やむを得ず 病院に連れて行く場合 保護者に連絡 「タクシーで病院に連れて行き そこでお待ちしています タクシー代は後日請求と なります」 病院で保護者に引き渡すまで 対応する	① 2か所に電話連絡 (保護者&病院) 保険証ナンバーメモ ② 看護 ③ 周囲児童への配慮	移送者④を決め タクシー手配 保険証ナンバー& 携帯を渡す ※日誌に記録する ※保険手続事務室へ 日誌記録コピー提出 現場判断により 移送時も付添い看護	
タクシーで病院に移送後 保護者が来ない場合	④ クラブに状況連絡し 運営委員が来るまで 待つ ★不明点は必ず連絡	連絡を受けたクラブは 瀧元or田島に報告 後交渉は運営委員へ	治療費のクラブ立替や、 治療の立会い、薬預かり等 すべて不可
4 親を待たず、救急車手配→ 病院で保護者に引き渡すまで 対応する	① 電話連絡(119) 学校&保護者へ電話 既往歴アレルギー 血液型など必要情報 ※日誌に記録する ② 看護 (意識確認、呼吸確認 気道確保 人工呼吸2・肋骨圧迫30 AED使用時は2人体制) ③ 周囲を安心させる	付添人を決め 保険証ナンバー控え 救急隊員到着後は 指示に従う ※必要所持品の確認	119 「救急です」 場所 は? 富士市中丸98 田子浦小学校内 東門運動場側 たごうら児童クラブです ↓

必要事項

- いつ
(○時○分)
- だれが
(田子浦小児童クラブ○年 名前)
- どこで
(運動場 室内?)
- ◎ 意識はあるか? 呼吸は? 出血は? 脈は? AEDは?
- 何をしていた
(遊び・運動・食事・排泄等)
- どんなふう
(急に胸を押えうずくまる…)
- どうなった
(たおれて起き上がれない)

たごうら児童クラブ
○○指導員

北クラブ 65-3103
南クラブ 65-3155